

清流

題字：芳野 充

令和2年6月30日
第42号

発行所 加来不動産(株)
発行者 加来 寛
北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに
静かに
清流のように

地道な努力を積み重ねる

「謙虚さがなくなる兆候十四項目」について、毎月一項目ずつご紹介させていただきます。改めてまとめてみます。

一、時間に遅れだす 二、約束を自分のほうから破りだす 三、あいさつが雑になりだす 四、他人の批判や会社の批判をしだす 五、すぐに怒り出す(寛容さがなくなる) 六、他人の話をうわ調子で聞きだす 七、仕事に自信がでてきて、勉強しなくなる 八、ものごとの対応が緩慢になる 九、理論派になりだす(屁理屈を言う) 十、打算的になりだす(損得勘定がしみつく) 十一、自分がえらく思えて、他人がばかに見えてくる 十二、目下の人に対して、ぞんざいになる 十三、言い訳が多くなる 十四、「ありがとうございます」という言葉が少なくなる(感謝の気持ちが悪くなる)

なお、念のためにお伝えしておきますが、わたし自身まだまだ謙虚な人間にはほど遠い存在です。しかし、そうならないよう日々意識しているつもりです。

この「謙虚さがなくなる兆候十四項目」は、素心学塾塾長である池田繁美先生が、県内外問わず、新任校長や新任教頭、あるいは教務主任などの教職員にかけて、講演会のなかでも紹介しています。それは、教育とは、教育者の人格を他の人に移し替える営みである、という考え方にあります。つまり、人を教育する指導者の人格が高まっていけないと、他の教員、児童、生徒、保護者、地域の人びとに良い影響を与えることは難しい、ということではないでしょうか。

また実は「謙虚さがなくなる兆候十四項目」は、教職員だけにとどまらず、数年前からツイッターやフェイスブックなどのSNSで広がりをみせており、とくに経営者や部下をもつ立場の人たちに注目され、ネット上では次のようなコメントがおおく掲載されています。

「出世したり、後輩が増えたり、事業が順調になったりしても、基本キャラは変わっちゃダメだよね」「もう10個くらい当てはまってる。基本自覚が半端じゃないもん」「自分は当てはまらない。ではなく気をつけていく」などなど。

わたしも日々気をつけているつもりですが、「つもり」で終わっている場面が多いな、と日々反省です。しかし少しでも謙虚な人間、素直な人間に近づき、魅力的な人になりたいと思っています。そのためには、コツコツと地道な努力を積み重ねる以外はないのだから、そう確信しています。牛の歩みではありますが、努力を継続していきます。

加来 寛

